

JR福生駅周辺は、市の中心的商業地域として発展してきました。しかし近年の消費者ニーズの変化や大規模商業施設の郊外立地やインターネットでの消費行動の変化から、中心市街地である福生駅周辺はかつてのにぎわいが薄れてきました。さらに、そのことから生じる負のスパイラルともいえるべき駅前の利便性の低下、住民の減少、そのことから生じる駅前の魅力低下による更なる商業環境の悪化が、市全体に影響を及ぼしている状況です。

そのような状況の中、平成29年11月に、福生駅周辺の地権者を中心に福生駅西口地区市街地再開発準備組合が設立され、行政としても新たなまちづくりに地域の皆様とともに取り組むこととし、多世代の市民の交流によるコミュニティを育み、負のスパイラルを断ち切るための核となる場を整備することとしました。

この基本計画は、準備組合が目指す「福生駅西口地区市街地再開発事業」において、公共機能を軸とした交流拠点の整備要望に対し、導入可能性を検討した庁内検討会の結果を基に、公共施設の役割や基本的な整備方針を明確にし、主な機能や施設内容、規模などの検討を行ったものです。

これは、市が準備組合に提示し、準備組合が策定する新たな都市計画案（事業計画）への反映を企図するもので、現時点での施設整備の方向性を示すものです。

今後、基本設計や実施設計を行う中で、より優れた公共施設とするための修正を図っていきます。

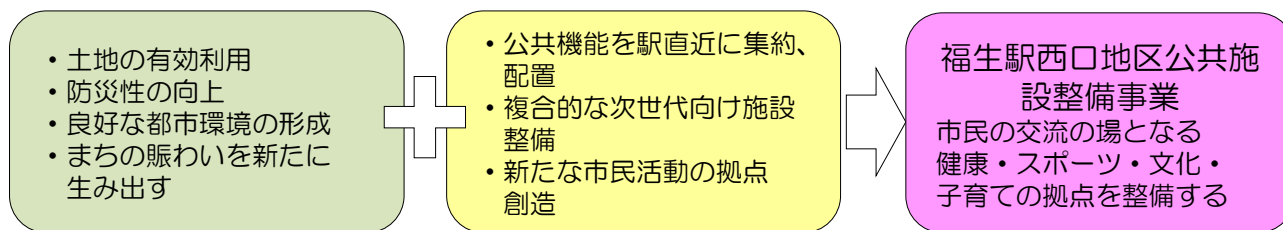
## 上位計画との関連性について

- 福生市総合計画  
良好な市街地の形成、環境の整備
- 福生市都市計画マスタープラン  
駅を中心とするコンパクトなまちづくりを進める
- 福生市立地適正化計画  
福生駅周辺に都市機能を集積させる
- 福生市公共施設等総合管理計画  
総量抑制の原則を念頭に、複合化による施設、機能の連携を通じて、施設設備の共用化を進められるよう、効率的に運用できる施設の整備を行う

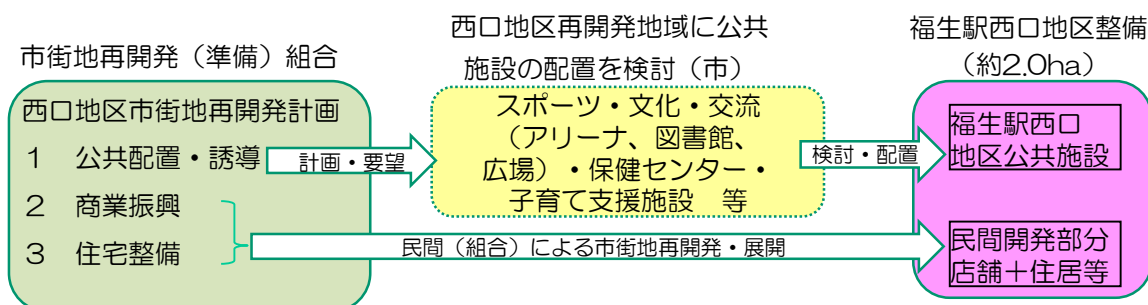
## 福生駅西口地区公共施設整備の方向性（4つの柱） ～4つの機能整備～

- スポーツ・アクティビティ機能**
  - ①スポーツと自然との調和、ふれあいの拠点施設
    - ◆スポーツ・イベント等の体験体感型拠点としての整備を行い、天候にも左右されずに日常生活の中で、多世代が生き生きと気軽に楽しめる施設を目指します。
    - ◆健康づくりと生きがい・ライフワークに根ざしたスポーツ施設を目指します。
- 文化発信・交流機能**
  - ②多くの人が出会い、文化的活動を通じ交流する施設
    - ◆ともに学ぶ、創る、演じることにより新たな出会いやふれあいを創り出し、文化芸術・生涯学習活動等を通じた、人と人との様々な関係の形づくりを目指します。
    - ◆性別や世代を超えた市民の交流を目指します。
- 知的空間創造機能**
  - ③市民一人ひとりが学び、創造する喜びを感じられる施設
    - ◆図書を中心に、子どもから大人まで様々な作品に触れるだけでなく、全ての市民が新たな文化に出会うことができる知的な空間となる施設を目指します。
    - ◆新たな居場所を作り、市民一人ひとりが創造の主役となり、日常生活に潤いやゆとりをもたらすだけでなく、新たな創造活動の源泉を生み出すことができる施設を目指します。
- 健康増進・子育て支援機能**
  - ④健康と子育ての拠点となる施設
    - ◆子育ての充実と高齢化社会に対応した健康づくりの拠点となる施設を目指します。
    - ◆多世代や地域の交流により、子育て世代の満足度をアップさせていくような施設を目指します。

## 福生駅西口地区拠点整備の考え方



## 再開発全体における公共施設整備の位置付け（イメージ）



## 公共施設整備に向けての考え方

- 1 施設の利用を市民交流中心とした地域文化・賑わいの創造に結びつけるためには、まず利用しやすく親しみやすい施設の在り方が求められます。誰でも利用できるエントランス等の共用スペースを中心に、目当ての施設以外の施設に立ち寄りやすく、施設ごとに発信する情報にも容易に触れられる施設とします。  
また、バリアフリー、多言語対応等、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに基づいた施設とします。
- 2 公共施設が設置される福生駅西口地区は、福生駅に接する市の中心市街地であり、福生を象徴するランドマークとしての役割を果たす施設を目指します。
- 3 施設の規模については、共用部も含めた床面積部分で約15,000㎡、主な機能の床面積部分で約9,800㎡と想定しています。  
※ただし、この規模に関しては施設的设计段階で変更になることもあります。
- 4 いくつかの施設が複合化されて設置されることで、得られる効果を最大限に活かします。類似設備の共用化により、無駄なスペースを排除し、複合化する施設間での事業連携を想定した施設配置とします。
- 5 雨水利用や屋上緑化等、また、太陽光発電、エネルギー共用・循環等を積極的に採り入れ、環境にも配慮し、地域でのエネルギーの融通等にも考慮した施設とします。
- 6 防災機能を高め、災害時における、近隣住民や福生駅での帰宅困難者の避難施設や防災拠点としての役割に対応できる施設とします。
- 7 幼児から中高生や高齢者といった幅広い年代層が、相談・活動できる場の設置を検討します。
- 8 市役所との連絡機能を設けます。
- 9 民間の活かさやノウハウを最大限に生かし、整備後の運営を視野に入れた施設を検討します。

## 運営体制方針

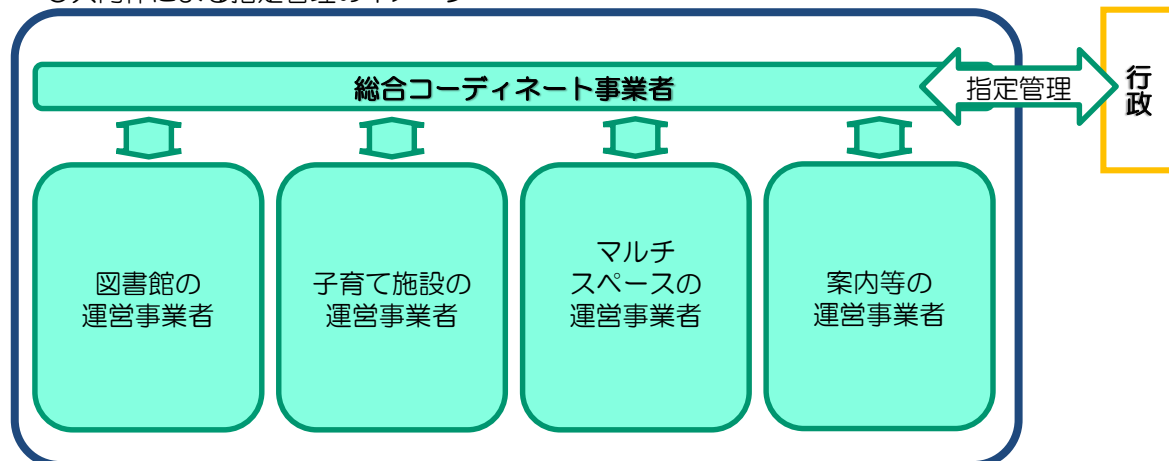
### 1 一体的な運営

目指す姿である「融合したひとつの施設」としての管理運営を実現するため、従来の公共施設の運営形態にこだわることなく、施設全体を一体的に運営します。

### 2 民間活力を積極的に活用

多様な利用者ニーズに応えながら、コストとのバランスを重視した効率的な運営を行うために、専門性や獨創性、柔軟性など、民間の持つノウハウを積極的に活用します。

### ○共同体による指定管理のイメージ



## 福生駅西口に整備する公共施設全体の施設内容・主な機能

**スポーツ・アクティビティ機能** (約2,500㎡)  
マルチスペース(大)、観客席等

**健康増進機能(保健センター)** (約1,000㎡)  
健(検)診室、健康指導・講習室、休日診療室・薬局等

**文化発信・交流機能** (約2,800㎡)  
多目的ギャラリー、マルチスペース(中)(小)、ホワイエ等

**子育て支援機能** (約600㎡)  
放課後対策、子どもひろば、親子談話室等

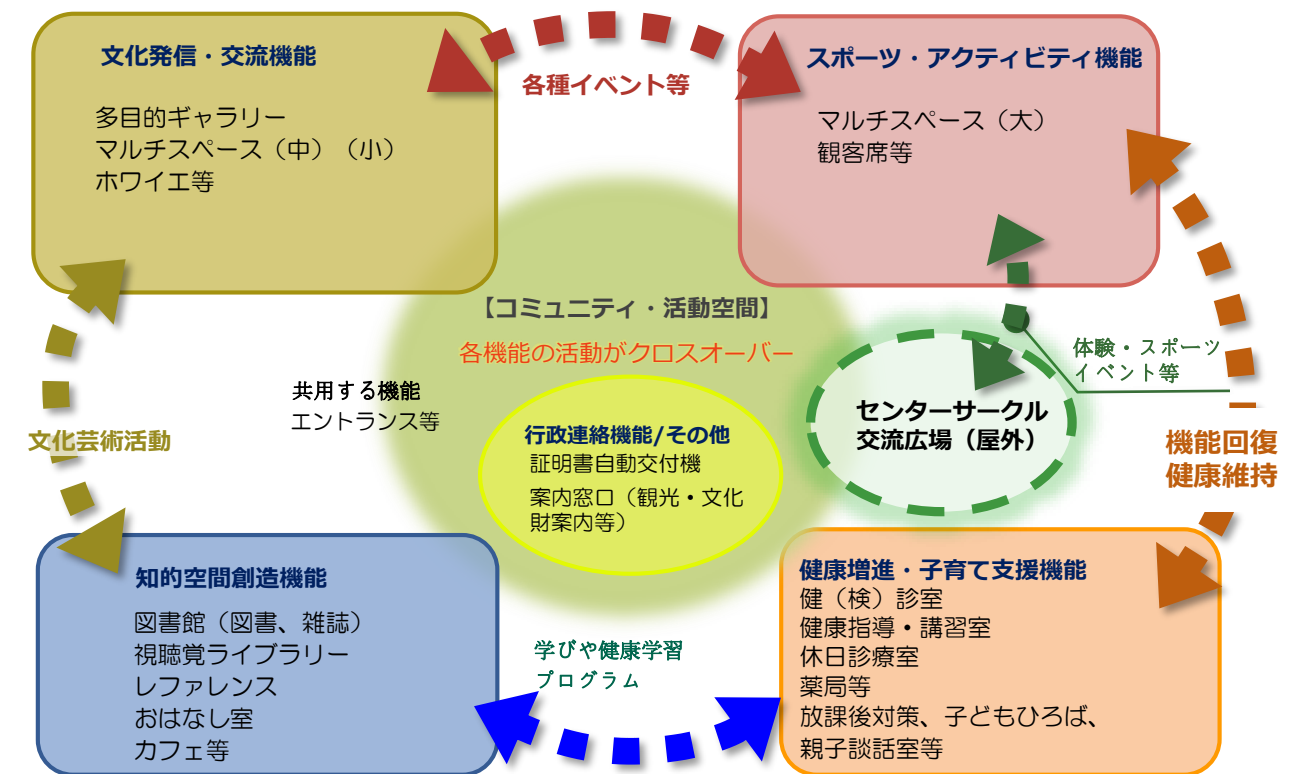
**知的空間創造機能** (約2,800㎡)  
図書館(図書、雑誌)、視聴覚ライブラリー、レファレンス、おはなし室、カフェ等

**行政連絡機能** (約50㎡)  
証明書自動交付機、案内窓口(観光・文化財案内等)等

※その他必要関係諸室については、効率的な運営を目指し事業者と協議し検討をします。面積については誰でも利用できるエントランス等の共用スペースを除いた面積となります。

主な機能の規模  
約9,800㎡

## 福生駅西口地区公共施設・複合化による具体的な効果(主要施設間)イメージ



○施設整備に向けた今後のスケジュール  
※再開発準備組合が目指すスケジュールとの調整による

- ・令和2年度 実施計画の作成及び都市計画決定(予定)

福生駅西口地区公共施設整備基本計画(概要版)

福生市企画財政部行政管理課  
福生市都市建設部まちづくり計画課